

## 研究の概要

助成年度・種別	2014年度 一般研究助成
研究代表者	渡部 諭
所 属	秋田県立大学
研究テーマ	振り込め詐欺脆弱性についての高齢者の認知特性に関する taxometric 分析
研究の概要 (助成申請書の要約)	<p>振り込め詐欺に対する高齢者の脆弱性について taxometric 分析を用いた検討を行う。この問題に関しては、脆弱性は連続的な特性であり程度の差はあるものの高齢者全員に存在すると考える立場と、脆弱性は離散的な特性であり脆弱性を持つ群と持たない群の2群が存在すると考える2つの立場がある。</p> <p>そこで、若年者・高齢者予備群(50～59歳)・高齢者に対して振り込め詐欺脆弱性社会調査を行い、taxometric 分析(特性の連続性・離散性を判定する統計法)を行う。分析の結果、振り込め詐欺脆弱性を持つ群と持たない群が判明した場合には、前者を分離しこの群に含まれる成員の認知特性を検討することによって、振り込め詐欺に遭いやすい人の特徴が明らかにでき、その人達のみを対象により有効な防止対策ができる。一方、程度の差はあれ振り込め詐欺にはどの高齢者も遭いやすいことが判明した場合には、高齢者全員が防止対策の対象になる。以上の方法によって、振り込め詐欺対策に対して認知心理学的な科学的根拠を提供することができる。</p>
選考委員からのコメント	<p>2010年度採択研究で得られた知見をサンプル数と情報量の増大によって裏付けるだけでなく、認知特性の連続・離散性に関する詳細な分析により、振り込め詐欺脆弱対策プログラムの作成に有用な知見が得られることを期待したい。</p>